

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	0人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	0人
・腹腔鏡下肝部分切除術	有・無	0人
・悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・無	0人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	0人
・成長障害のDNA診断	有・無	0人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	0人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	0人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	0人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	0人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	0人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	0人
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	0人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	0人
・重粒子線治療	有・無	0人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	0人
・ <sup>31</sup> P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	0人
・神経芽腫のRNA診断	有・無	0人

- (注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。  
 2 先進医療で上の表に挙げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

- (注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。  
 2 先進医療で上の表に挙げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・超音波骨折治療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・膀胱水圧拡張術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡下直腸固定術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・骨移動術による関節温存型再建	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	0人

- (注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。  
 2 先進医療で上の表に挙げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法（腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・先天性難聴の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・筋過緊張に対する muscle afferent block (MAB) 治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

- (注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。  
 2 先進医療で上の表に挙げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・副甲状腺内活性型ビタミンD（アナログ）直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

- (注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。  
 2 先進医療で上の表に挙げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	65人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	35人
・多発性硬化症	157人	・ウェゲナー肉芽腫症	7人
・重症筋無力症	190人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	4人
・全身性エリテマトーデス	2,072人	・多系統萎縮症	4人
・スモン	1人	・表皮水疱症 (接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	72人	・膿疱性乾癬	9人
・サルコイドーシス	221人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・筋萎縮性側索硬化症	31人	・原発性胆汁性肝硬変	758人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	676人	・重症急性膵炎	2人
・特発性血小板減少性紫斑病	188人	・特発性大腿骨頭壊死症	9人
・結節性動脈周囲炎	15人	・混合性結合組織病	371人
・潰瘍性大腸炎	409人	・原発性免疫不全症候群	4人
・大動脈炎症候群	44人	・特発性間質性肺炎	9人
・ピュルガー病	3人	・網膜色素変性症	74人
・天疱瘡	13人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	87人	・原発性肺高血圧症	7人
・クローン病	42人	・神経線維腫症	170人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	12人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	56人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・パーキンソン病関連疾患	1,094人	・特発性慢性肺血栓栓症 (肺高血圧型)	15人
・アミロイドーシス	49人	・ライゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	5人
・後縦靭帯骨化症	31人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	1人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

### 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する 部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と 開催した症例検討会の開催頻度	大学全体として年間6回（2ヶ月に1回） 各科毎として週1回程度（年間約50回）		
剖 検 の 状 況	剖検症例数	31 例	剖 検 率      10.5 %

## 1 研究費補助等の実績

No. 1

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
HCV感染者の肝炎活動性を規定する宿主 要因：オステオポンチンの発現調節機構	持田 智	消化器内科・ 肝臓内科	千円 1,600	補 文部科学省 科学研究費 委
2型糖尿病患者のQOL、血管合併症及び長期 予後改善のための前向き研究	片山 茂裕	内分泌内科・ 糖尿病内科	千円 700	補 厚生労働省 科学研究費 委
糖尿病網膜症および加齢黄斑変性症の遺伝 子解析：PEDF遺伝子多型を中心として	栗田 卓也	内分泌内科・ 糖尿病内科	千円 1,800	補 文部科学省 科学研究費 委
アディポネクチン受容体を介したアディポ ネクチンシグナルの解明	犬飼 浩一	内分泌内科・ 糖尿病内科	千円 1,200	補 文部科学省 科学研究費 委
特定疾患患者の生活の質 (Quality of life, QOL) の向上に関する研究	小森 哲夫	神経内科・ 脳卒中内科	千円 800	補 厚生労働省 科学研究費 委
樹状細胞を用いた悪性高熱症の新規診断法 の開発	菊地 博達	麻酔科	千円 1,500	補 文部科学省 科学研究費 委
リアノジン受容体を介した樹状細胞応答の 解析	成田 弥生	麻酔科	千円 1,330	補 文部科学省 科学研究費 委
神経膠腫の浸潤能におけるLPA産生酵素 ATXの役割の解明	藤巻 高光	脳神経外科	千円 1,400	補 文部科学省 科学研究費 委

計 8

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。